

- 武豊町地域公共交通総合連携計画の策定に関するパブリックコメント 対応案
募集期間：平成 21 年 9 月 24 日～平成 21 年 10 月 23 日
意見数：3 件（直接提出 1 件、電子メール 1 件、ファクシミリ 1 件）

・ **知多半島道路の西側を通るルートを検討していただけないでしょうか。**

実験的な導入当初から武豊町全域をくまなく運行することは財政的な負担が大きく、適切な税金投入による事業化とは言えません。

今回の導入にあたっては、まず、利用者が多いと見込まれる、人口分布から見て居住者が多い地域から実験的に運行し、期待される利用があるかどうかを判断したいと考えています。3 か年の試行運行時に、巡回ルートの整備を第一段階とし、知多半島道路の西側のエリア等については第二段階として、公共交通の導入を検討する計画です。

・ **バスの活用・普及を、自治会・区の仕事として、区がやるべきです。区長は、区内に PR し、希望意見収集の活動を行うように、武豊町地域公共交通会議のメンバーに区長を入れて欲しい。**

・ **住民合意を得るために、地域説明会を開催し、住民の意見を直接反映すべきです。**

武豊町地域公共交通会議は、住民及び利用者の代表として 7 人（議会議長、長尾部部長、大足区区長、富貴区長会会長、社会福祉協議会会長、老人クラブ連合会会長、商工会会長）が参加しています。

なお、住民に対する説明ですが、3 つのバスルート毎に係る地区の方を対象に「コミュニティバス地区説明会」の開催と「バス運営連絡会（仮称）」を設け、バスに関する住民意見の集約や、ルート、バス停等に係る事項の検討・調整を地域主体で行い、より実効性のあるバス運行を目指す予定です。

・ **計画案では、基幹ルートは潜在利用者数が多くあることから設定されていますが、基幹ルート周辺は、高齢者の方々が徒歩あるいは自転車ででかけることが可能範囲のため、基幹ルート設定の考え方そのものを再検討する必要があるのではないですか。**

ご指摘の通り、基幹緑ルート周辺の公共施設、医療機関、商業施設に近い人は、徒歩あるいは自転車ででかけることが可能です。しかしながら、武豊町の多数の人が、徒歩あるいは自転車でこれら施設に行ける訳ではありません。また、雨天時のことも考える必要があります。

今後も少子高齢化が進むことが予想されている今、公共交通の骨格として基幹ルートを設定し、新たなまちの資源としてバスを考えるべきだと思います。

・ **小型バスにて運行する計画のため、バスが通行できない狭い道路がコースからカットされているとみられます。小回りの利くワゴン車のほうがよいのではないのでしょうか。**

ご指摘のとおり、ワゴン車で狭い道路に入り込み、細かなルートを設定し、個別の利便性を高めることも必要と思います。

しかし、ピーク時や将来の利用者増を見通すと、定員 10 人程度のワゴン車では積み残す可能性が十分考えられます。また、運行本数を増やして対応した場合、車両だけ

でなく運転手の人件費確保が必要となり、事業費が格段に増加します。

無尽蔵に財政投入が許されるのであれば、ワゴン車できめ細かく、便数増を行えますが、事業の効率化を考えると、小型バス車両で運行する方が有利と考えます。

また、小型バスは段差のないノンステップ車両の導入を考えております。ワゴン車ですと大きい段差や腰をかがめたりする必要があります。車内も広いバスの方がきっと利用しやすいと考えます。

- ・ **無料お試し券の配布について、一時的には多数の利用者があると思いますが、継続的な利用が繋がるとは考えにくいと思います。継続的に利用者を増やすには、一般回数券、高齢者・障害者割引券（無料券）などの発行を提案したいと思います。**

提案ありがとうございます。

料金設定はみなさんが気軽に利用しやすい 100 円としています。当然ながら相当乗車率が高くないと 100 円では事業収支があいません。1 回 100 円という料金設定が、既に割引料金になっているということをご理解ください。

回数券の扱いについては、料金設定がそもそも割り引いているということをふまえると、回数券制度などを導入することは現時点では考えていません。

なお、要介護者の付き添いの方を無料にするなどの割引制度は設ける予定です。